

1. 事業内容

団体名	くしろ・まち・ガイド倶楽部
事業名	地元くしろの魅力情報・集積・整理・共有・再認識・発信・人的ネットワーク構築促進・次世代継承事業
課題テーマ	地域経済の活性化・地域を担う人材育成
事業提案の背景	「観光立国釧路」が標榜されているが、未だ地元釧路の魅力に対する地元民の認知度は高いとは思えない。又、平成27年に制定されたまちづくりの憲法とも位置付けられる「釧路市まちづくり基本条例」に対する認知度も同様に高いとは思えない。➡ ①そこで地元民の地元への愛着を強め、深めることをベースにしたまちづくりを「釧路市まちづくり基本条例」の精神に基づき、自らの得意分野、可能な分野で市民サイドからの責務を果たす、出来る範囲で寄与したいとの気持ちの中で、縁あって面識を深めた市民に方々に呼びかけ任意団体を組織化し、令和6年4月より活動を開始した。 ②更にこの動きを可能な限り早い時期に釧路市の長期滞在者、釧路在住の若者、大学生にも働きかけ、ガイド的事業に関わることで釧路の魅力に一層深く触れ、釧路人との交流を深めることを通じて、「釧路大好き」をベースに将来的に人的・情動的ネットワークが構築される一助となることを期待している。 なおガイド的事業については、参画への誘因の一つとして、基本的に有償ボランティアでの活動と位置づけとしている。
事業目的	「好きこそものの上手なれ」➡「釧路大好き人」になろう。好きな人を増やす。それはまちづくりの第一歩。今この精神を、まちなかの案内をすることを通じて広め、次世代へ繋げる。
事業内容	釧路の街の魅力に関する①ガイド事業②広報活動③情報集積・共有・活用
事業展開	①ガイド事業➡4月始まり年間約120回・1,000人の市中心部のガイド実施 ②広報活動➡11月生涯学習フェスティバルで「釧路の魅力を伝える」展示コーナー開設約延150人来場。/新聞報道2回 ③情報集積➡市内中心部に情報集積の場所確保・集積開始
成果目標の達成状況	①くしろの顔でありへそともいえるゾーンでありながら、今まであまり重視されていなかったコースへの案内であったが、予想以上の反響があった。（別紙アンケート参照）再訪、長期滞在、移住談議にも繋がっている。 ②市民目線でのガイドスタイルも「ガイドらしくないところが素晴らしい。全国的にPRした方がよい」とのアドバイス、それも元大手旅行会社OBであったことは本事業への評価の象徴的事例ととらえている。
波及効果の達成状況	将来を見据え、ガイドの拡充・とりわけ学生層への働きかけを模索、市内の高等教育機関である教育大学・公立大学・釧路短期大学等への連携を提案済。今後高等専門学校や高校生を含め、まずは一人からでも繋がりを求めてその機会拡充を図る所存。
実施体制	くしろ・まち・ガイド倶楽部（現在会員25人）
連携した市担当課	市民協働推進課・市教委生涯学習部生涯学習課
連携した市担当課が果たした役割	資金援助・展示会会場提供・広報

2. 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	50,000	釧路市輝くまちづくり交付金 50,000円
ガイド料	626,960	プリンスホテル経由ガイド料 (7月12日以降分)
合 計	676,960	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	30,650	コピー代等 (領収書No.1～No.44) (領収書No.45～No.68) ※但し下記Noは除く。
消耗品費	30,111	
小 計	60,761	
対象外経費		
人件費	365,000	ガイド行動費 (7月12日以降分) (配布一覧表 添付)
食糧費	43,050	まなトピア・交流会・モニターツアー (領収書No.69～71)
負担金	5,000	わっと団体会員会費 (領収書No. 72)
備品購入費	2,145	鍵 (領収書No. 73)
謝礼	20,000	資料保管・事務所提供謝礼 (領収書No. 74)
手数料	400	両替手数料 (領収書No. 75)
印刷製本費	1,855	領収書NO.1・8・10・11・14・26・27・31・32・ 36・38・39・41・42
消耗品費	3,548	領収書NO. 57・60・63・65・67・68
小 計	440,998	
合 計	501,759	